

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
107	独立行政法人酒類総合研究所
<b>題名 (原題/訳)</b> Association of drinking pattern and alcohol beverage type with the prevalence of metabolic syndrome, diabetes, coronary heart disease, stroke, and peripheral arterial disease in a Mediterranean cohort. 地中海沿岸コホートにおける飲酒パターンとアルコール飲料のタイプと生活習慣病、糖尿病、冠状動脈性心疾患、脳梗塞、末梢動脈疾患有病率との相関	
<b>執筆者</b> Athyros VG, Liberopoulos EN, Mikhailidis DP, Papageorgiou AA, Ganotakis ES, Tziomalos K, Kakafika AI, Karagiannis A, Lambropoulos S, Elisaf M.	
<b>掲載誌 (番号又は発行年月日)</b> Angiology. 2007 Dec-2008 Jan;58(6):689-97.	
<b>キーワード</b> 生活習慣病、糖尿病、冠状動脈性心疾患、脳梗塞、末梢動脈疾患、アルコール	
<b>要旨</b> 本研究の目的は地中海沿岸コホートにおけるアルコール摂取と生活習慣病、2型糖尿病、冠状動脈性心疾患、脳梗塞、末梢動脈疾患有病率との相関を調べることである。ギリシャの成人 4,153 名 (男性 2,035 名、女性 2,118 名) を非飲酒者 (17%)、時々 (月 1 回程度) (23%)、軽度 (1 日当たり 1-19g) (27%)、中程度 (1 日当たり 20-45g) (24%)、重度 (1 日当たり 45g 以上) (9%) の飲酒者に分類した。非飲酒者と比較し、中程度のアルコール摂取で生活習慣病、2型糖尿病、冠状動脈性心疾患、末梢動脈疾患、心疾患全体の有病率が低下する傾向が見られたが、脳梗塞についてはこのような影響は見られなかった。また、重度の飲酒では、これらすべての有病率が増加していた。ワイン摂取はビールやスピリッツ摂取に比べ、心疾患全体の有病率がわずかに低下し、ビール摂取はスピリッツよりも有病率が低かった。この他、アルコール摂取は体重、HDL コレステロール、高血圧と正の相関が見られることがわかった。	